

取組項目	施設の適正な機能維持に向けた取組
組織名(市町名)	与能資源保全会(芳賀町)

●当地域は、S30年代に構造改善事業により土地区画の整理を実施し、水路装工については平成の当初に実施しており、施設は20年程度経過している。水路製品は、特に破損等は見られないが、利用環境や経年変化により路線が波打っている状態であった。そこで、地域で建設工事等の経験のある者を中心に延べ23名により布設替えの作業を実施した。

●経験者の指導により、約200mにわたる延長を勾配修正し、必要な水量の確保を図った。

●当地域は、古い施設が多いので、今後とも計画的に地域全体の施設機能保全に努めていきたいと考えている。
要費用:約48万円(重機借り上げ代、日当等)



取組項目	揚水機・水路の点検・補修の取組
組織名(市町名)	夢・はにしの里協議会(壬生町)

●積極的に施設の点検、機能診断を実施し、水田かんがいの重要な施設である揚水機の補修、消耗品の交換などを実施した。今までは水利担当の役員のみでの活動であったが、多くの構成員が参加したことにより、農業用施設に対する共同活動への意識が高まった。

●用水路において、コンクリートU型水路の不同沈下、破損箇所などを直営施工により実施するなど、意欲的に活動が実施された。参加者からは「このぐらいなら自分たちでもできるじゃないか」等の感想が持ち上がり、活動を続けていく意欲が高まりました。

●要費用:日当、印刷経費など、約20万円



取組項目	管理用道路等の整備
組織名(市町名)	西山田自然環境保全会(大平町)
●太平山南山麓の畑及び水田地帯を活動区域とする西山田は山裾に複数のため池があり、水田かんがいにおいて重要な役割を果たすとともに、地域の豊かな自然環境をはぐむ施設である。 ●このため池への管理道路は未舗装で排水状況が悪いため、通行に大きな支障を来していたが、10月21日、構成員4名による共同活動により、砂利敷きを実施し、これを解消した。このことにより施設の保安全管理の条件が整うなど、今後の活動が期待される。 ●地元住民からは「このため池は、『ホテルの里』へ流れ込む源流であるので、舗装してもらって維持管理がしやすくなった」との意見が出され、生態系保全の面からも、今後の活動が期待される。 ●需用費: 日当、砂利代(運搬用トラック代含む)など、約3万円   	
取組項目	技術力等の向上(ふとん籠)
組織名(市町名)	あらい自然環境保全会(大田原市)
●構成員40名(農業者、非農業者含め)、2日間で分水堰の改修を実施しました。 ●工事材料: ふとん籠、コンクリート板、コンパネ堰板、割栗石 ●借用器材: 重機(バックホウ、ホイールローダー)、車両(1t車、2t車、4t車) 	

取組項目	間伐材を有効活用した保安全管理
組織名(市町名)	ふるさと古江21(岩舟町)

●高度な農地・水向上活動として、一級土木施工管理士の指導を得て、直営施工で幹線水路(土水路)の法面に間伐材を使用し土留柵を設置した。また、小段を設けて花の植栽による景観形成の活動も実施した。

●地域の農業と生活を支える水路の重要性を認識し、地域をあげて保安全管理が必要であることの関心・意識が高められた。参加者からは「地域の幹線水路が、木(間伐材)と花によってきれいに生まれ変わった。今後も、積極的に参加しながら、住みよい地域づくりをしていきたい」との声がよせられた。

作業は、男性を中心とした整備活動と、高齢者や女性を中心とする植栽・管理作業に分担して行った。

●ヒノキ間伐材850本、施工延長440m、植栽:ショウブ、アヤメ、カキツバタなど。

●期間:4/10~4/30。延人数130人、費用:日当、砂利代など、約120万円



取組項目	水路法面の補修
組織名(市町名)	大豆田自然を守る会(大田原市)

●構成員15名、役員4名(延べ人数)により、水路の法面崩壊による補修を行った。L型コンクリートを29本入れ、土砂を裏込め材として使用した。

●毎年2回、人力により泥上げを実施しているが、将来的に泥上げ作業の軽減を目指している。

●要費用:日当、物財費(L型コンクリート)、機械経費(バックホウリース)など、約90万円。

作業中



整備後



取組項目	技術力等の向上(水路の嵩上げ)
組織名(市町名)	北金丸ふるさと環境保全会(大田原市)

●構成員11名で、60m(1箇所)の水路の嵩上げを実施した。

●要費用:日当、物財費(ブロック、接着剤)、機械経費(サンダー、ブロアー)など14万円。

●20年前から水路の溢れを確認していたため、今回、自主施工で実施した。



取組項目	技術力等の向上(U字溝の敷設)
組織名(市町名)	片田・北滝環境保全会(大田原市)

- 水路250m(延べ)、5箇所を自主施工によりU字溝の敷設を実施しました。
- 以前からの水路法面の崩壊、泥上げ作業などの重労働が解消されました。



取組項目	技術力等の向上(簡易な土嚢コンクリート補修)
組織名(市町名)	湧水の郷 とのうち(大田原市)

- 構成員15名、1日かかりで、農道(延長100m)を補修した。土嚢袋にセメント、砂、砂利を混ぜて詰める。

- 補修内容(材料)
 - ①土嚢袋 600袋
 - ②セメント 60袋
 - ③砂 7m³
 - ④砂利 20m³

- 実施後の効果について、通行への支障がなくなった。



取組項目	技術力等の向上(U字溝布設)
組織名(市町名)	上郷の清流を守る会(大田原市)

●期間約2週間、構成員40名(延べ)で、水路55mの法面の初期補修及び改修として、U字溝の布設を自主施工により実施しました。

●要費用: 日当、物財費(杭、コンクリート、U字溝)、機械経費(重機リース)など180万円。

●以前からの水路法面の侵食により、耕作や通行の不安が解消されました。



取組項目	直営施工による施設補修
組織名(市町名)	川井地域農村環境保全会(那須烏山市)

●当地区は、高齢化・後継者不足の問題がある農村地域であり、最近、希薄になった地域コミュニティの回復を目指し活動に取り組んでいる。

●圃場整備を昭和40年代に行った地域であり、水路の老朽化や、小さな陥没など、様々な障害が現れている。陥没のあった水路脇には砂利・生コンを充填し、復旧した。

●また、シモツケコウホネの生息する水路について、法崩れ・溢水が頻繁に発生していたため、杭柵工を直営施工で実施し、水路と農道の機能を確保した。



取組項目	技術力等の向上(農道コンクリート舗装)
組織名(市町名)	北堀環境保全自治会(大田原市)

- 構成員12名(延べ人数)で、農道(砂利道で一部坂道)の補修を行った。
- ユンボで整地する。地固め、型枠作り、ワイヤーメッシュ張り、コンクリート打ちをする。
- 梅雨時期や冬期の凍結・雪の時の軽トラックでの走行時のスリップが無くなって良かった。
- 要費用:日当、機械経費(ユンボ、軽トラック)、物財費(木材、ワイヤーメッシュ、結束線、生コン)、その他など約20万円。



取組項目	水路、農道・破損施設の改修
組織名(市町名)	山中大塚農地・水・環境保全向上コスモス会(那須塩原市)

●構成員7名、一般参加の技術者3名にて破損水路の改修及び、水路の農道横断部のコンクリート現場打ちで延長することで、改修・補強を行った。

●埋め戻しなどを行う際、砂利だけでなく山砂を混ぜることで、飛び散りを防止する工夫をしている。

